

制汗剤のにおいの違いについて

1年1組 白瀧 陽菜 1年1組 渡邊 七海
 1年2組 芝藤 あす香 1年2組 清水 愛理 1年2組 山村 志乃
 指導者 長尾 起条

1 課題設定の理由

バスの中で制汗剤を使用したことにより、乗車していた高齢者の方が体調不良になるという出来事があった。この話を聞いて、性別差や年齢層・においの強さによってにおいの感じ方が違うのではないかと考え、このテーマを設定した。

2 仮説

年齢差や性差で同じにおいでも、感じ方が異なる。

3 実験・研究方法

(1) アンケート実施

試験管に入れた脱脂綿に a (スプラッシュマリン)、b (石けん)、c (シトラスシャーベット)、d (a・b・c 三種の混合) の四種類の制汗剤をそれぞれ 6 mL ずつ含ませ、順に嗅いでもらう。宇和島在住の方、宇和島東高校生徒・教員ら 78 名にアンケートをとり、人々のにおいの感じ方を調べる。

(2) おおいの測定

インターネットでの調査により、「においに単位はないが、強さを数値化できる」ということが分かったため、におい検査機(新コスモス電機株式会社 XP-329m)を使い、アンケートで使用した a ~ d のにおいの強さを測定する。



写真 1

4 結果と考察

(1) アンケート結果

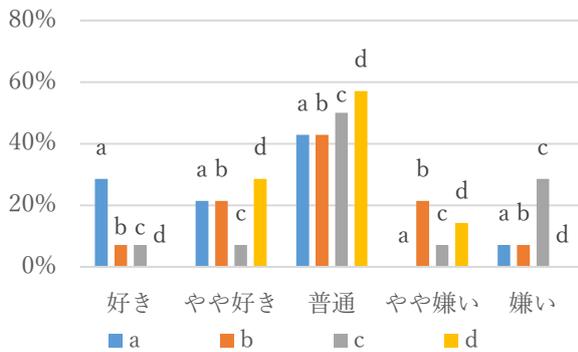


図 1 10代~20代 男

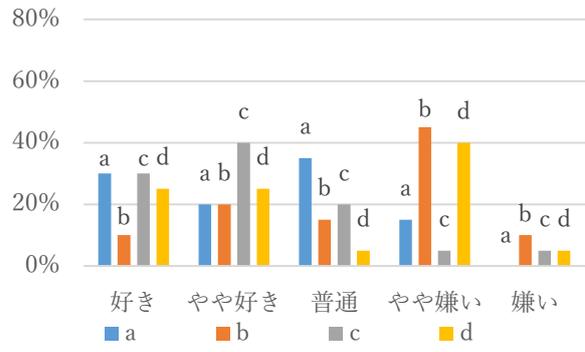


図 2 10代~20代 女

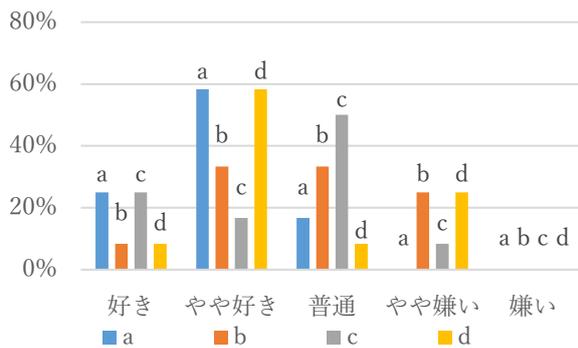


図 3 30代~50代 男

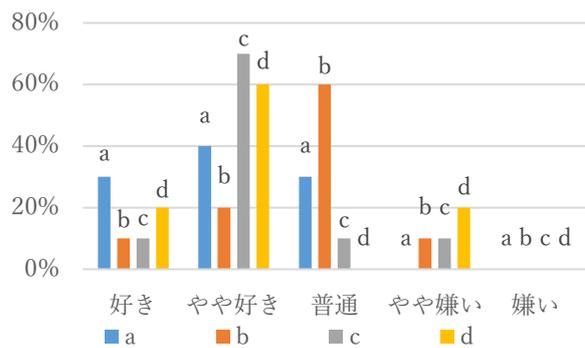


図 4 30代~50代 女

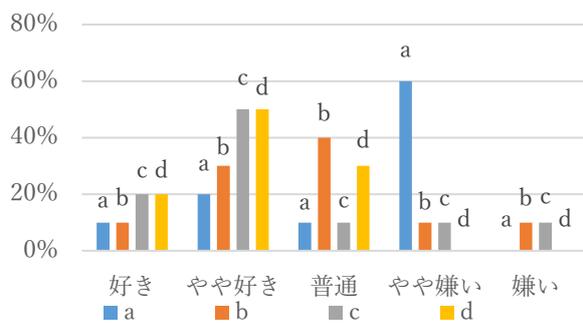


図5 60代～ 男

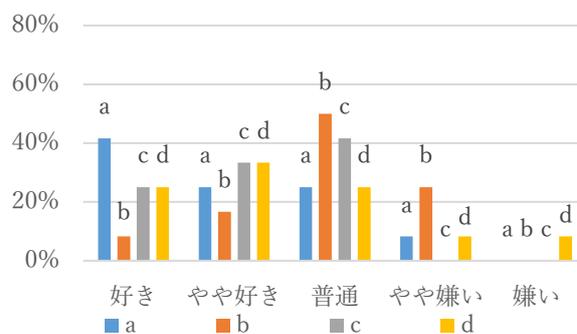


図6 60代～ 女

(2) においの測定結果

表1 においセンサの値 (単位なし)

a	b	c	d
724	893	999	693

(3) 考察

ア 年齢差について

- ① 10代～20代の男性は、シトラスシャーベットを嫌いな傾向があるが、30代以上は普通もしくは好きである。
- ② 男性でスプラッシュマリンは、60代～はあまり好まない傾向があるが、10代～50代は好む傾向がある。
- ③ 女性で石けんは、10代～20代は嫌いな傾向だが、30代～は普通と感じる傾向がある。
- ④ 混合物は、10代～20代は普通・やや嫌いと感じる傾向があるが、30代～は好む傾向がある。

イ 性差について

- ① 60代～のスプラッシュマリンは、女性には好まれる傾向があるが、男性は嫌いな傾向がある。
- ② 男性より女性の方が、においを不快と感じる人が少ない傾向がある。
- ③ 男性より女性の方が、においの好き嫌いがはっきりしている傾向がある。

ウ アンケート結果と測定結果の比較

- ① シトラスシャーベットは数値が高いわりに、嫌いと感じる人が少ない傾向がある。
- ② アンケート結果と測定結果を比較しても、数値の高さとにおいの好き嫌いはあまり関係性がなかった。これはにおい測定器がにおいの良い悪いに関係なく、においの度合いだけを検出する仕組みであるからと考えている。

5 結論

年齢差かつ性差によってはっきりした違いが見られたが、においの強さの数値と人々の感じ方には大きな違いは見られなかった。

謝辞 アンケートに協力してくださった宇和島市民の皆さん、有り難うございました。

参考文献

- ・NPO法人日本住宅研究協会、<http://www.kjknpo.com/>
- ・新コスモス電機株式会社、<http://www.new-cosmos.co.jp>
- ・シーブリーズ、<http://www.seabreezeweb.com/products/deodorant/>